

1 不動産鑑定士の仕事は!

土地や建物等の不動産の適正な価格を鑑定評価(不動産鑑定評価書の提出)することが中心です。近年は不動産市場の大きな変化により仕事の範囲が広がり、内容も多様化しており、社会のニーズは高まっています。

主な鑑定評価をあげますと下記のものがあります。

- 裁判所の民事再生評価、資料増減評価、遺産分割評価、競売評価等の不動産に関する鑑定評価
- 国、地方公共団体の用地買収、売り払いの鑑定評価
- 国税局の鑑定標準地の鑑定評価
- 各市町村の固定資産税(土地)の評価替えに関する鑑定評価
- 一般企業、団体等の用地取得、売却及び資産評価等の鑑定評価
- 個人が不動産を売買する場合及び遺産分割をする場合の鑑定評価
- 金融機関等の担保評価……等々

2 高崎経済大学出身の不動産鑑定士は!

全国では何人いるか把握していませんが三十人(?)いるかどうかでしょう。

群馬県内の不動産鑑定士はその中で現在のところ6名で、資格を目指して勉強している人もいます。不動産鑑定士の専門科目は「経済学」と「民法」で他の資格試験ではその科目は免除される場合があります。

近くたってからの挑戦であったのが反省点です!! 私は現在でも高崎経済大学直心影流剣道部の練習や合宿、コンパに出席して若者のエネルギーを吸収させてもらい、又色々と学ぶ所があります。

卒業後四十年近くなりますがクラブ活動の仲間は一生涯の友人となりますのでクラブに所属することを絶対お勧めします。

大学の4年間でのんびりした時間は決してムダではないと思います。人生の中ではそういう時が必要である気がします。されど、授業中と本を読む時は集中して集中力を高めていただきたい。……: 社会に出て集中力と体力は重要です!! 体力はスポーツクラブに入部して身体を鍛えてほしい!!

4 不動産鑑定士を目指して!

卒業して上場会社に就職し、営業企画を担当したが、上司や社長と意見が合わない時(今思えば若気のいたりだったかも……)に、どうしても自分の思った通りの事をしたいなら自分で何かやるしかないな”と考えるようになりました。しかし、この時はこの資格は思い浮かびませんでした。その後、ある不動産会社からスカウトされ、不動産関連業にこの資格があることを知り、挑戦してみようと思ったのが二十代後半。早速受験してみたらメタメタ!!……: 学生時代の付け焼刃的学習の結果ができました。これではまずいと思い、本学に経済原論、経済変動論、国民所得論等数科目を聴講生で一年間受講しました。……: 高崎在住のため地の利を得たと思う。又加藤教授の

『資格試験への挑戦』

—不動産鑑定士の仕事を知ってますか?—



吉門慶良

不動産鑑定士
(1968年卒業)



KEIRYO YOSHIKADO

不動産鑑定士。
1945年8月6日生まれ。
1968年経済学科卒業。
1981年9月 高崎市内に有限会社吉門不動産鑑定士事務所設立現在に至る。
社団法人群馬県不動産鑑定士協会会長
国土交通省地価公示前群馬県代表幹事、
群馬県地価調査前群馬県代表幹事
前群馬県地価調査会議会長、群馬県土地評価協議会委員、群馬県宅地建物取引業審議会委員
前橋地方裁判所民事・家事調停委員・同鑑定委員
前橋地方裁判所競売評価人
関東信越国税局土地評価基準鑑定評価員……等。

高崎経済大学出身の 群馬県不動産鑑定士集団

- ・吉門 慶良 (不動産鑑定士) 高知県出身
1968年卒 (有) 吉門不動産鑑定士事務所 所長
- ・岡部 庚次 (不動産鑑定士) 群馬県出身
1971年卒 (有) 吉門不動産鑑定士事務所・鑑定マネージャー
- ・石田 寛 (不動産鑑定士) 愛知県出身
1991年卒 (有) 石田不動産鑑定士事務所 所長
- ・岡田 忠彰 (不動産鑑定士) 北海道出身
1991年卒 (株) 岡田不動産鑑定士事務所 所長
- ・田中 聡一 (不動産鑑定士) 群馬県出身
1997年卒 たなか不動産鑑定士事務所 所長
- ・星 憲洋 (不動産鑑定士) 北海道出身
2000年卒 不動産鑑定士星事務所 所長

3 学生時代の雑感!

私の学生時代は直心影流剣道部の練習とアルバイトが中心で授業はあまり出てなかった気がします。(本学の加藤敬弘教授や准助教授のお話では「吉門さんの時代は試験の点数がよければ単位がとれたが今では卒業できません」とのことですので授業は出席しましょう!!) 授業にでなかった割には成績は良かったと思いますが、付け焼刃で後々反省させられる!! 学生時代から不動産鑑定士2次試験を目指し現役で合格した同業者がいますが、私の場合は卒業後7年

科目が役にたちました!!

仕事をしながらであり、飲み会などの付き合いは遠慮させていただき、1日平均約5時間位の勉強をしたと思います。その結果、翌年には不動産鑑定士2次試験に合格できました。……: この時は集中して勉強したと思います!!

その後、2年間の実務補習、3次試験受験のための1年間の実務演習を行い、不動産鑑定士3次試験に1回で運よく合格しました。……: (平成18年から試験制度が変更となり、期間は短縮されますが別の問題がでている?)

1981年に現在の鑑定士事務所を開設し26年を経て、ここ数年は後進の指導、教育を旨としています。

5 君の資格試験への挑戦!

本学に入学された皆さんは知能も高く、学習の方法も十分に会得していると思われるので集中力をもつてあせらず時間をかけて勉強すれば学生時代(現役)での高いレベルの資格試験合格も夢ではないと思います。

また、現役で合格できなくても勉強したことは蓄積され、継続すれば必ず合格できると思います。

不動産鑑定士の資格に関心のある方は是非受験案内をみるか、又は当事務所に勉強中の若い本学OBもおりますから相談に来て下さい。

君ならできる! 君ならなれる!
君も夢を実現しよう!

本学卒業生それぞれの歩み